

2022 年度

松本大学松商短期大学部 進路先アンケート

(3 年目)

調査結果

2022 年 12 月 20 日

松本大学松商短期大学部 内部質保証室

【調査の概要】

対象：135 団体（2020 年 3 月卒業生が内定・合格した企業等）

調査方法：WEB 回答

調査期間：2022 年 8 月 4 日～2022 年 9 月 11 日

回答数：51 団体

有効回答数：47 団体

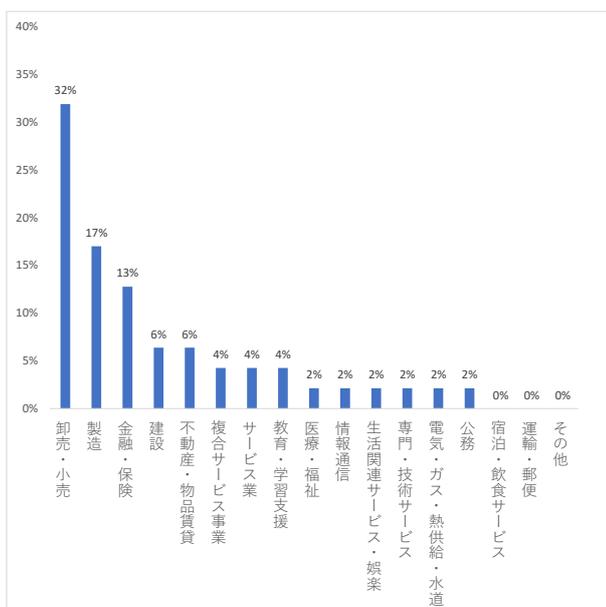
有効回収率：34.8%

2022年度 松本大学松商短期大学部 進路先アンケート（3年目）

I. 基本プロフィール

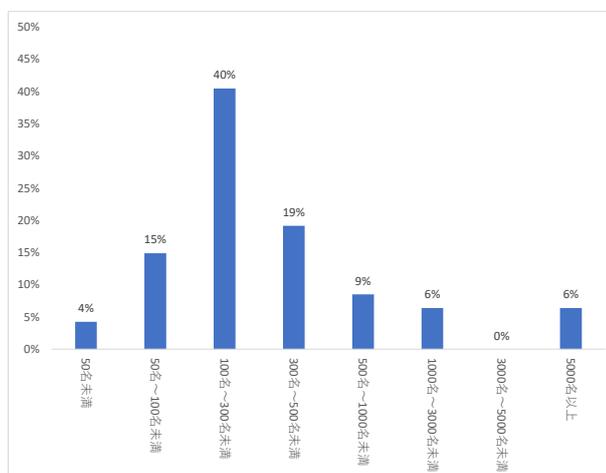
1. 産業分類・業種

	団体数	%
卸売・小売	15	32%
製造	8	17%
金融・保険	6	13%
建設	3	6%
不動産・物品賃貸	3	6%
複合サービス事業	2	4%
サービス業	2	4%
教育・学習支援	2	4%
医療・福祉	1	2%
情報通信	1	2%
生活関連サービス・娯楽	1	2%
専門・技術サービス	1	2%
電気・ガス・熱供給・水道	1	2%
公務	1	2%
宿泊・飲食サービス	0	0%
運輸・郵便	0	0%
その他	0	0%
合計	47	100%



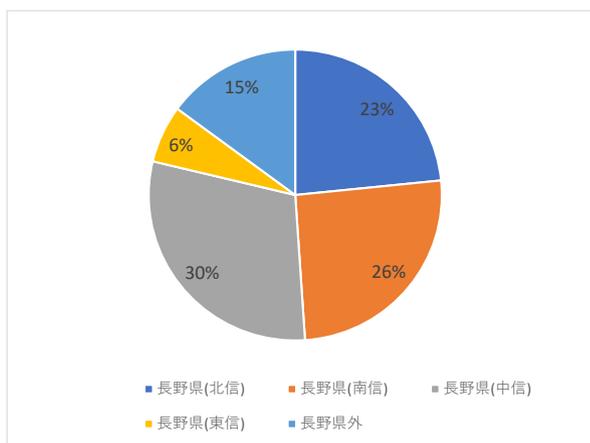
2. 従業員規模

	団体数	%
50名未満	2	4%
50名～100名未満	7	15%
100名～300名未満	19	40%
300名～500名未満	9	19%
500名～1000名未満	4	9%
1000名～3000名未満	3	6%
3000名～5000名未満	0	0%
5000名以上	3	6%
合計	47	100%



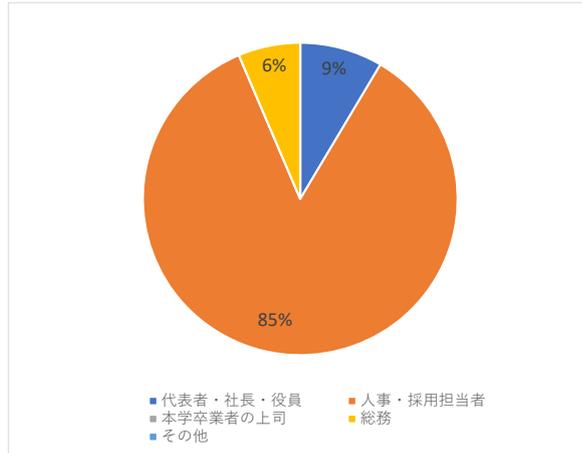
3. 本社・本部所在地

	団体数	%
長野県(北信)	11	23%
長野県(南信)	12	26%
長野県(中信)	14	30%
長野県(東信)	3	6%
長野県外	7	15%
合計	47	100%



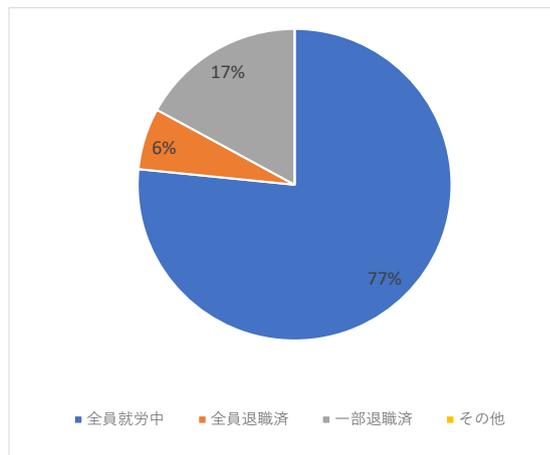
4. 回答者の所属

	団体数	%
代表者・社長・役員	4	9%
人事・採用担当者	40	85%
本学卒業者の上司	0	0%
総務	3	6%
その他	0	0%
合計	47	100%



5. 対象の卒業生について、現在の就労状況について教えてください。

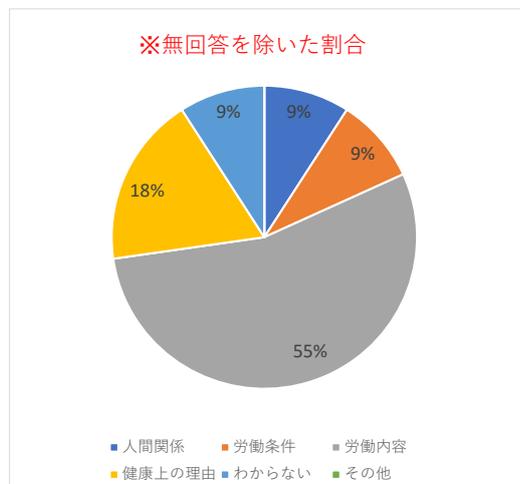
	団体数	%
全員就労中	36	77%
全員退職済	3	6%
一部退職済	8	17%
その他	0	0%
合計	47	100%



6. (5.で退職した卒業生がいると回答された企業様のみ) 差支えなければ、退職理由について推定で構わないので教えてください。(任意)

	団体数	%
人間関係	1	9%
労働条件	1	9%
労働内容	6	55%
健康上の理由	2	18%
わからない	1	9%
その他	0	0%
合計	11	100%

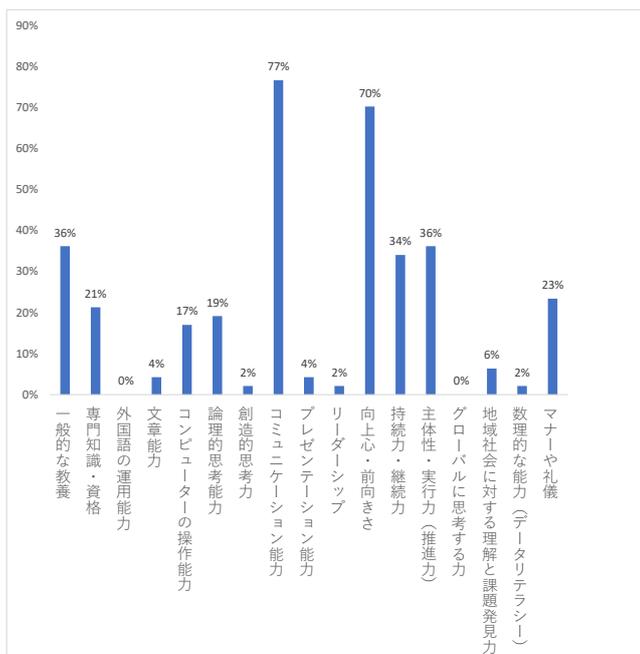
回答者数	11
無回答者数	36
合計	47



II. 学生の資質等について

7. 貴職場で3年目の社員・職員に必要とされている能力・態度等を、3つ選んでください。

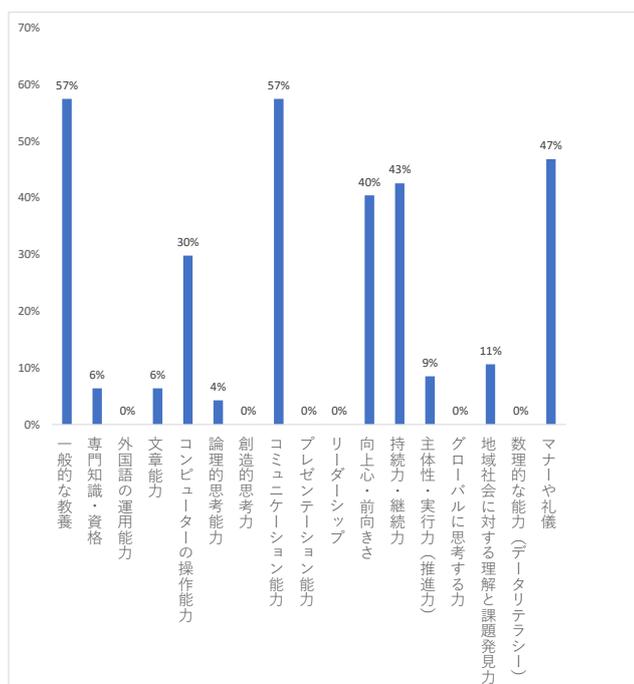
	団体数	%
一般的な教養	17	36%
専門知識・資格	10	21%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	2	4%
コンピューターの操作能力	8	17%
論理的思考能力	9	19%
創造的思考力	1	2%
コミュニケーション能力	36	77%
プレゼンテーション能力	2	4%
リーダーシップ	1	2%
向上心・前向きさ	33	70%
持続力・継続力	16	34%
主体性・実行力（推進力）	17	36%
グローバルに思考する力	0	0%
地域社会に対する理解と課題発見力	3	6%
数理的な能力（データリテラシー）	1	2%
マナーや礼儀	11	23%
合計	167	
回答社数	47	
無回答社数	0	
	47	



(3つ以下または以上選択している回答についても集計には全て含めている。)

8. 本学卒業生が修得していると感じる能力・態度等を、3つ選んでください。

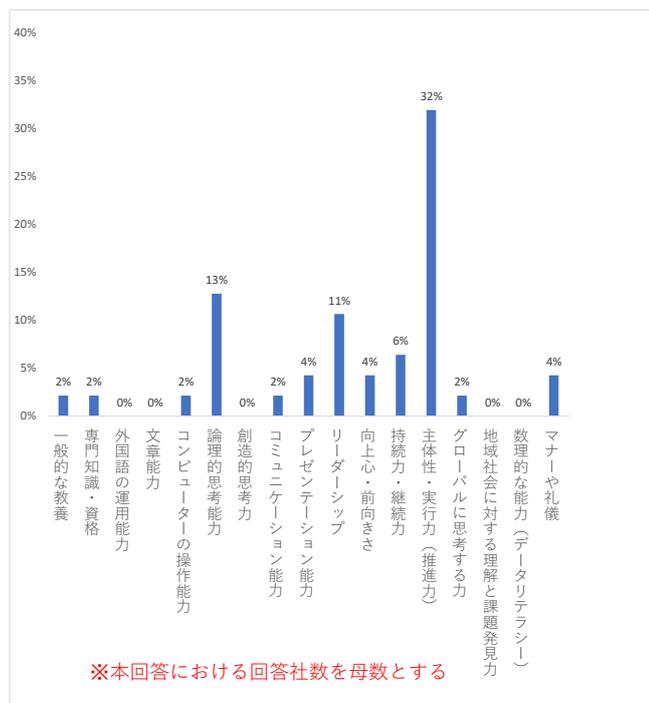
	団体数	%
一般的な教養	27	57%
専門知識・資格	3	6%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	3	6%
コンピューターの操作能力	14	30%
論理的思考能力	2	4%
創造的思考力	0	0%
コミュニケーション能力	27	57%
プレゼンテーション能力	0	0%
リーダーシップ	0	0%
向上心・前向きさ	19	40%
持続力・継続力	20	43%
主体性・実行力（推進力）	4	9%
グローバルに思考する力	0	0%
地域社会に対する理解と課題発見力	5	11%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	22	47%
合計	146	
回答社数	47	
無回答社数	0	
	47	



(3つ以下または以上選択している回答についても集計には全て含めている。)

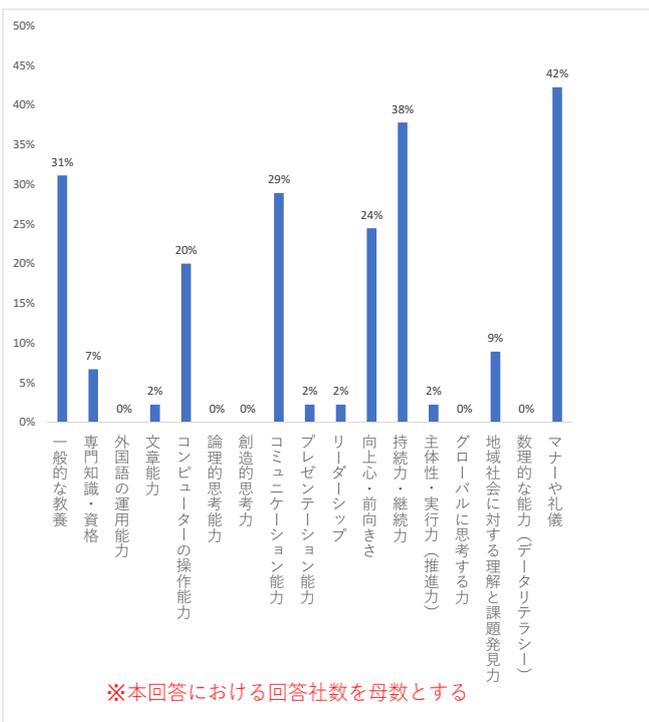
9. 本学卒業生が不足していると感じる能力・態度等を、1つ選んでください。

	団体数	%
一般的な教養	1	2%
専門知識・資格	1	2%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	0	0%
コンピューターの操作能力	1	2%
論理的思考能力	6	13%
創造的思考力	0	0%
コミュニケーション能力	1	2%
プレゼンテーション能力	2	4%
リーダーシップ	5	11%
向上心・前向きさ	2	4%
持続力・継続力	3	6%
主体性・実行力（推進力）	15	32%
グローバルに思考する力	1	2%
地域社会に対する理解と課題発見力	0	0%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	2	4%
無回答	7	15%
合計	47	100%
回答社数	40	
無回答者数	7	
	47	



10. 本学卒業生が（他大学の学生と比較して）身に付いていると思う能力を選んでください（複数回答可）。

	団体数	%
一般的な教養	14	31%
専門知識・資格	3	7%
外国語の運用能力	0	0%
文章能力	1	2%
コンピューターの操作能力	9	20%
論理的思考能力	0	0%
創造的思考力	0	0%
コミュニケーション能力	13	29%
プレゼンテーション能力	1	2%
リーダーシップ	1	2%
向上心・前向きさ	11	24%
持続力・継続力	17	38%
主体性・実行力（推進力）	1	2%
グローバルに思考する力	0	0%
地域社会に対する理解と課題発見力	4	9%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	19	42%
合計	94	
回答社数	45	
無回答社数	2	
	47	



11. 本学卒業生が（他大学の学生と比較して）身に付いていないと思う能力を選んでください（複数回答可）。

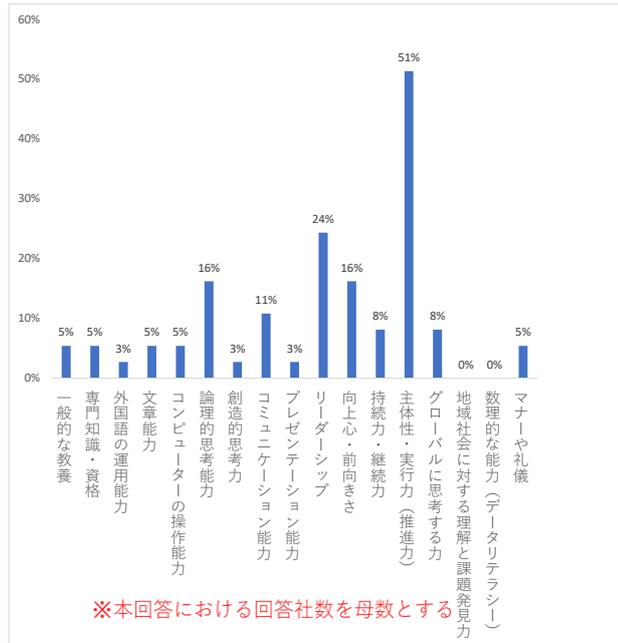
	団体数	%
一般的な教養	2	5%
専門知識・資格	2	5%
外国語の運用能力	1	3%
文章能力	2	5%
コンピューターの操作能力	2	5%
論理的思考能力	6	16%
創造的思考力	1	3%
コミュニケーション能力	4	11%
プレゼンテーション能力	1	3%
リーダーシップ	9	24%
向上心・前向きさ	6	16%
持続力・継続力	3	8%
主体性・実行力（推進力）	19	51%
グローバルに思考する力	3	8%
地域社会に対する理解と課題発見力	0	0%
数理的な能力（データリテラシー）	0	0%
マナーや礼儀	2	5%

合計 63

回答社数 37

無回答社数 10

47



12. 貴職場のニーズと本学卒業生の現状を踏まえて、本学教育で特に力を注ぐとよいと思う教育分野は何ですか（複数回答可）。

	団体数	%
問題把握・解決能力	26	59%
自律的にキャリアをデザインするキャリア教育	14	32%
一般的な教養	11	25%
情報リテラシー	9	20%
各学科の専門教育	3	7%
文章校正能力	2	5%
語学	1	2%
その他	0	0%

合計 66

回答社数 44

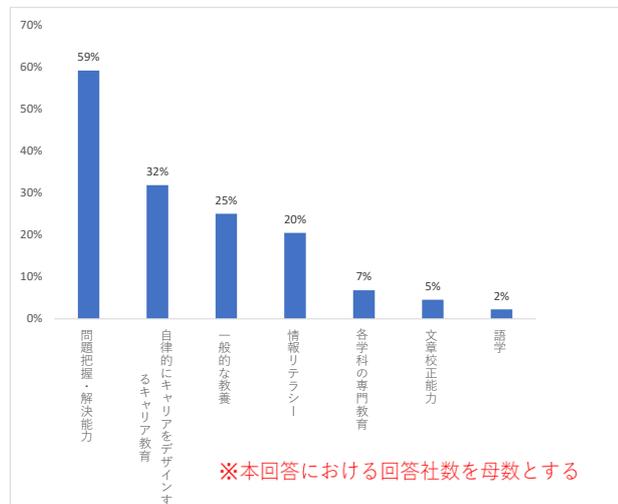
無回答社数 3

47

【その他の回答】

社会人としての一般常識

コミュニケーション能力



13. 貴職場のニーズと本学卒業生の現状を踏まえて、特に必要だと思う就職に向けた準備は何ですか（複数回答可）。

	団体数	%
自己分析	27	57%
業界・企業研究	22	47%
低学年からの就職について考える機会	9	19%
職業に関連する学習や資格取得	8	17%
学業成績の向上	5	11%
その他	2	4%

合計 73

回答社数 47

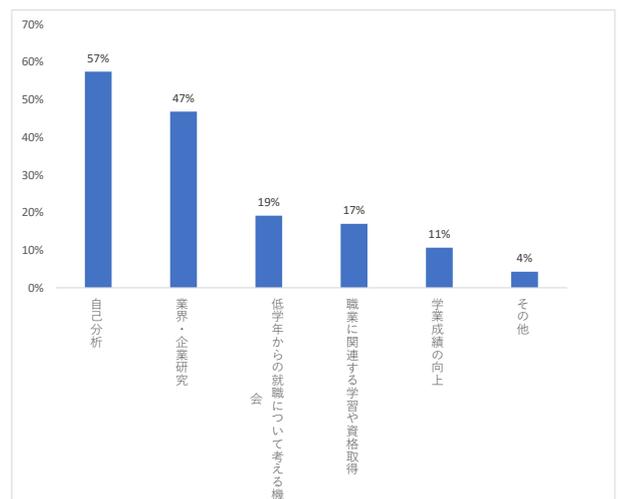
無回答社数 0

47

【その他の回答】

・一般常識

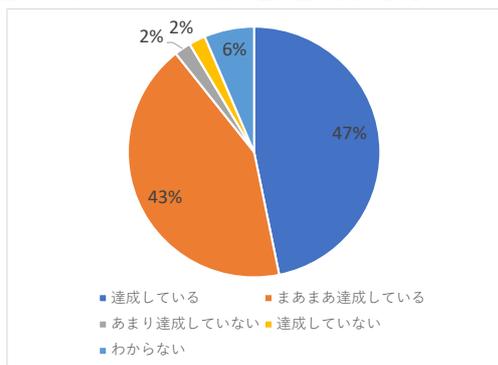
・部活動・ゼミ等で少しでも自分の思いを形にすること



III. 本学の理念とDPについて

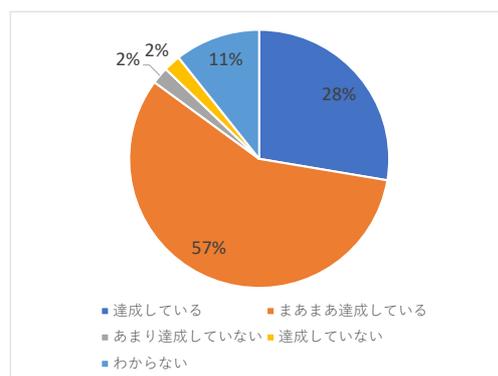
14. 本学の理念・使命は「地域社会に貢献できる人材を育成」することです。卒業生の状況から、本学はこれをどの程度達成していると思われますか？

	団体数	%
達成している	22	47%
まあまあ達成している	20	43%
あまり達成していない	1	2%
達成していない	1	2%
わからない	3	6%
合計	47	100%



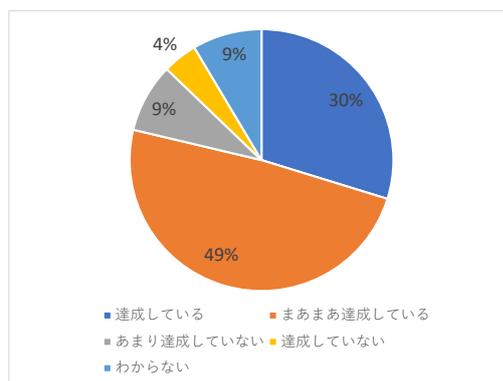
15. 本学卒業生は、ディプロマ・ポリシー①「基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる。」をどの程度達成していると思われますか？

	団体数	%
達成している	13	28%
まあまあ達成している	27	57%
あまり達成していない	1	2%
達成していない	1	2%
わからない	5	11%
合計	47	100%



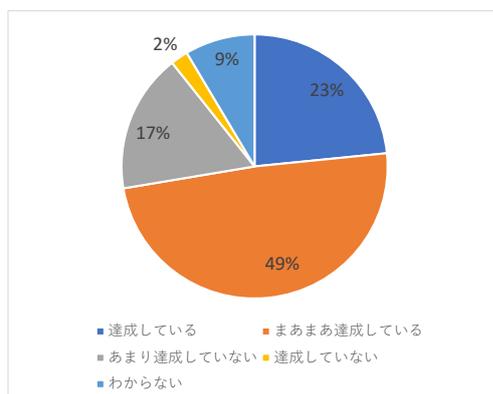
16. 本学卒業生は、ディプロマ・ポリシー②「身に付けた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる。」をどの程度達成していると思われますか？

	団体数	%
達成している	14	30%
まあまあ達成している	23	49%
あまり達成していない	4	9%
達成していない	2	4%
わからない	4	9%
合計	47	100%



17. 本学卒業生は、ディプロマ・ポリシー③「身に付けた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、主体的に行動することができる。」をどの程度達成していると思われますか？

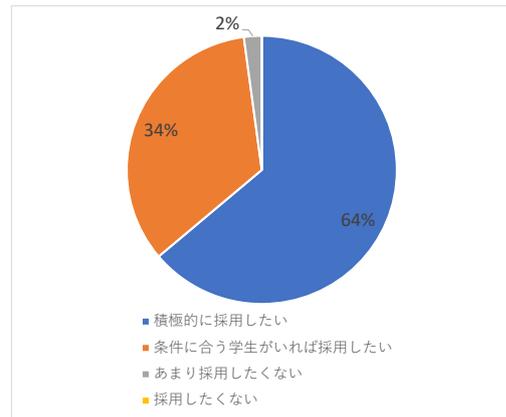
	団体数	%
達成している	11	23%
まあまあ達成している	23	49%
あまり達成していない	8	17%
達成していない	1	2%
わからない	4	9%
合計	47	100%



IV. 最後に

18. 今後も松本大学松商短期大学部から採用したいと思いますか

	団体数	%
積極的に採用したい	30	64%
条件に合う学生がいれば採用したい	16	34%
あまり採用したくない	1	2%
採用したくない	0	0%
合計	47	100%



19. 新卒採用したいと思う短大の学生像（求める能力・態度・経験等）を自由に記入してください（任意）

いつもお世話になっております。

日々の仕事の中で様々な経験を通して成長していければと思いますので、それらに立ち向かっていける『明るく元気な人柄』を求めます。

長野県で就職をして、地域貢献したいと思っている学生、相手の立場に立つことができる学生

挨拶が出来る人、向上心があり明るい人

自発的に行動できるか、を重視しています。

求めるものはいつの時代も、どんな企業でも共通だと思うが、特に昨今は「心と身体の強さ」がより必要になっています。様々な社会経験を学生のうちに積んでいただき、打たれてもへこたれない人になっていただきたい。

会社という集団で仕事ができるコミュニケーション能力と、製造業として持続力や改善能力（問題発見能力）を重視しています。また、多少のストレスは跳ね返せる前向きなメンタリティーと物怖じしない行動力があればさらに良いと考えます。

挑戦、主体性、誠実さコミュニケーションを通じて信頼関係の構築ができる人材

仕事、業界に前向きな学生

社会を広い視野で眺め、課題を見つけ出し自ら社会に役立つとする実行力、実現力

前向きに物事に取り組み、自ら行動出来る方

コミュニケーション能力、向上心

商社としての利益を出すための基礎的な考え方（簿記的な）や、当社の教育制度によって社会人になっても『学び』を継続できること、さらには組織として仕事をすすめるうえで必要なコミュニケーションをとるために『想像力』を働かせることができる。

挨拶のできる社会人として一般常識を持った学生

笑顔が多く、コミュニケーション能力の高い、長野県が好きな人

向上心を持ち、意欲的に仕事に取り組める方

自分の頭に描いた事柄を、相手に合わせて、言葉にして伝える能力

「社風がよかった」以外の、会社に入ってやってみたい仕事ややりたい自分を少しでもアピールしてくれる学生。

実行、謙虚、継続

自らコミュニケーションが取れる学生

人とのコミュニケーション能力、自ら問題を見つけ改善に向けて継続して取り組める能力

あらゆる人と良好なコミュニケーションが取れ、明るく前向きである。アルバイト経験がある。

社会に出て大変なことがあっても逃げ出さず、起き上がれる子が活躍しております。向上心がある学生様を募集します。

コミュニケーション能力、年齢の幅広い方とのコミュニケーション、自己分析

20. 本学卒業生の能力や印象を踏まえて、本学の教育および23卒採用に向けてご意見・ご感想・ご要望などありましたら、記入してください。（任意）

地域に貢献していただける元気な学生をこれからもどんどん採用していこうと考えておりますので宜しくお願い致します。

弊社でも23卒の方の求人を出しています、今後ともよろしく願います。

特にありません。今後も引き続き、良い人材を育ててください。

貴校はそれぞれの個人がしっかり見える優秀な人材が多いと思います。ここ2年程、製造業を指向される学生の方がガクッと減ってきていると感じています。地元の製造業はそれぞれの強みを持って生き残っていますので、活躍の場がしっかりとあります。学生さんのご応募をお待ちしています。

キャリア教育・支援のサポート等により、メール・添え状・挨拶等がしっかりとっている印象があります。

面接官から、短時間の面接で“その人らしさ”が見えるよう、自己分析・自己表現を更に期待しているとの声がありました。

自己研鑽、自己啓発の姿勢、やり方を学んできてほしいと感じています。

まだ採用活動を実施中です。まだお決まりになっていない学生さんがいらっしゃいましたら、積極的にご紹介いただけますと幸いです。よろしくお願いたします。

学生時の資格取得

よろしければ、是非ともインターンシップ及び会社説明会に参加していただければと思います。どちらも、キャリアUCから応募可能です。

真面目に努力できる人材を育てていらっしゃる印象です。本年度は間接部門の採用枠があまりございませんが、事前度以降についても継続的に採用をさせていただけるように準備をしたいと思っております。

23卒においても大変お世話になりました。今後とも何卒よろしくお願申し上げます。

残念なことに、書類提出の期限が守られないことや連絡がこないままの事例があった。せめて連絡は入れてもらいたい。

素晴らしい先輩の活躍ぶりもあり応募して頂ければすぐ採用に近いのでどんどん応募して頂ければ幸いです

23卒採用での秋採用活動を継続しています。就職活動を続けている学生さんがいらっしゃいましたら、ぜひお知らせいただけますと幸いです。よろしくお願いたします。

23卒の学生様の採用活動はまだ続けておりますので、是非まだ就職活動が終わっていない学生様がいらっしゃいましたらご紹介ください。

とても明るく、リーダーシップの取ることのできる、学生に入社していただきとても嬉しいです。

【松商短期大学部】2022年度 進路先アンケート（就業3年目）について

1. 本アンケートの趣旨・目的

本学は、「地域社会に貢献できる人材の育成」という使命・目的を掲げ、それを踏まえて、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー、以下「DP」という。）を以下のとおり定め、卒業を認めるに足ると判断する際の能力や資質を明示している。

【松本大学松商短期大学部ディプロマ・ポリシー】

松商短期大学部では、修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得するとともに、地域社会において、職業人として活躍し、市民の一員として豊かな生活を送るために、以下の力を身につけた学生に対して卒業を認定する。

- ①基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての**知識**や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる。
- ②身につけた知識や技術を活用し、立場の違う人とも**コミュニケーション**を図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる。
- ③身につけた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、**主体的**に行動することができる。

この3つのDPの達成・到達状況について分析し、その結果を、教育改善や教学改革、学生支援などに活用することを目的に、本学の卒業生が就職した企業・団体等（以下 企業等という）を対象に、就業後3年目の卒業生の評価に関するアンケートを実施した。

2. 本アンケートの概要

本アンケートは、2020年3月卒業生（2019年度卒業生）が就職した企業等を対象に実施し、本学の卒業生の現在の就労状況、企業等で必要とする3年目の社員の能力・態度等、また本学の卒業生が修得していると感じられた能力・態度等を尋ねたものである。47の企業等から有効回答があり、回収率は、34.8%であった。

回答いただいた企業等の85%が長野県内に本社もしくは本部を構えており、従業員数で見ると、100~300名未満の中小規模が最も多く全体の4割（40%）を占めた。

3. 本学卒業生の資質等について

「Q.7 貴職場で3年目の社員・職員に必要とされる能力・態度（3個選択）」を尋ねた質問に対する回答は、「コミュニケーション能力」（77%）、「向上心・前向きさ」（70%）、の2項目が大幅に多かった。

上記の回答に対して、「Q8. 本学卒業生が修得していると感じる能力・態度等(3個選択)」を問い、得られた回答との対比を表したものが次ページの図1である。本学の卒業生が修得

している能力としては、「一般的な教養」(57%)、「コミュニケーション能力」(57%)、「マナーや礼儀」(47%)、「持続力・継続力」(43%)を選択する企業が多く、中でも「コミュニケーション能力」及び「向上心・前向きさ」に関しては、先述のとおり企業等からのニーズも高いため、本学卒業生の強みであると言えそうである。また、本調査から「マナーや礼儀」の項目を追加したことで、本学卒業生が「マナーや礼儀」について企業等から高く評価されていることが明らかになった。「Q10. 本学卒業生が(他大学の学生と比較して)身についていると思う能力(複数回答可)」を問う設問でも「マナーや礼儀」が最も多く選択され、42%であった。

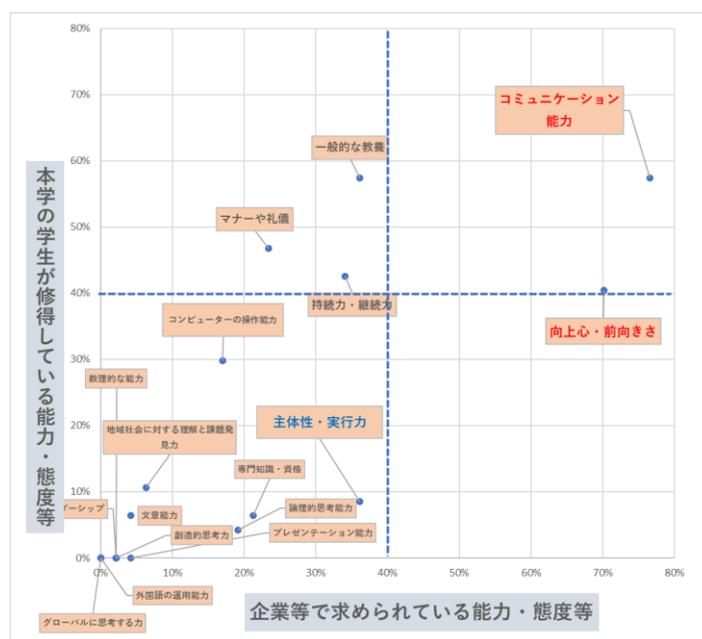


図1.本学卒業生が習得している能力・態度と企業等のニーズの対比(就業後3年目)

一方、比較的企業からのニーズが高いものの卒業生が修得しているという評価があまりなされなかった「主体性・実行力(推進力)」に関しては、今後強化が必要な資質であると言えそうである。

次に、就業年数による卒業生への評価の変化を分析するため、対象の卒業生の就職先企業に対して2020年に実施した進路先アンケート(卒業後4ヶ月)のデータを確認する。「Q7. 貴社で必要とされる能力・態度等(複数回答可)」への回答の上位項目は、「コミュニケーション能力」(96.7%)、「向上心・前向きさ」(85%)、「一般的な教養(80%)」の順に高く、今回実施したアンケートと同じ並びとなった¹。次ページの図2は、就業後4ヶ月時点での、本学卒業生が修得している能力・態度と企業等のニーズの対比である。

¹ 2020年進路先アンケートでは、選択項目に上限を設けていないが、本アンケートでは選択上限を3個に限定している。

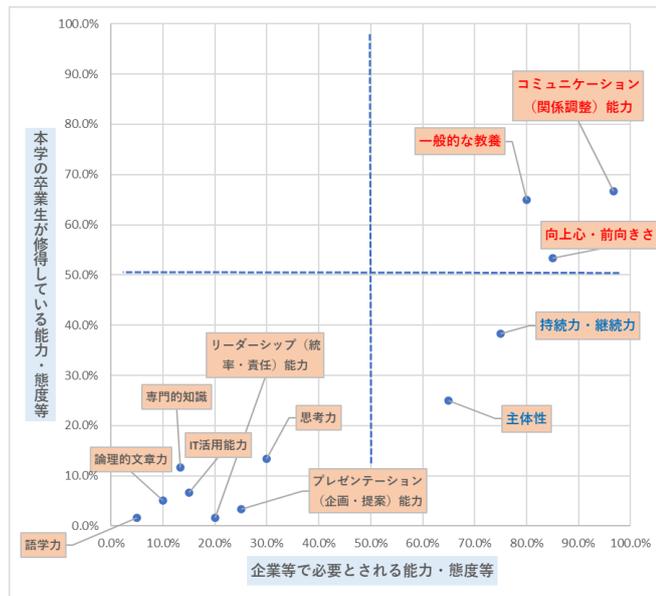


図2.本学卒業生が習得している能力・態度と企業等のニーズの対比（就業後4ヶ月）

ニーズの割合に多少の変化はあるものの、「コミュニケーション能力」及び「向上心・前向きさ」が本学卒業生の強みであるという点では、就業年数による変化はなさそうである。就業後4ヶ月の時点で、企業からのニーズは高いものの本学の学生が修得しているとの評価がさほど高くなかった「持続力・継続力」は、今回のアンケートでは、本学の学生が修得しているとする企業の割合が増え（38.3%→43%）、企業からのニーズが下がっている（75.0%→34%）。能力・態度の選択肢の数や選択上限が異なるため、単純に比較はできないが、今回のアンケートの「10. 本学卒業生が（他大学の学生と比較して）身につけていると思う能力（複数回答可）」においても、「持続力・継続力」（38%）は「マナーや礼儀」（42%）に次いで多く選ばれており、むしろ、本学の卒業生の強みであると言えそうである。これは、就業年数による変化であるのか、選択上限を限定したことによる変化であるのか、他に起因するのか本アンケートだけでは明らかではないが、今後継続的にアンケートを実施し検証を続けつつ、就職支援等の参考としたい。

また「主体性」については、割合に多少の変化はあるものの、企業等のニーズと本学学生への評価にギャップがあるという点では、就業年数による変化はなさそうである。本アンケートで「Q9.本学卒業生が不足していると感じる能力・態度等（1個選択）」及び「Q11. 本学卒業生が（他大学の学生と比較して）身につけていないと思う能力（複数回答可）」に対する回答でも「主体性・実行力（推進力）」が、それぞれ37%、51%と最も多く選択されている。また、「Q12. 貴職場のニーズと本学卒業生の現状を踏まえて、本学教育で特に力を注ぐとよいと思う教育分野は何ですか（複数回答可）」という問いに対しては、「問題把握・解決能力」を選択した企業が59%と最も多く、本学の教学改革へ貴重な示唆を与えている。

4. 本学の使命・目的と DP について

就業している卒業生の状況から、本学の使命・目的や DP の達成状況について尋ねたことに対し、「達成している」と「まあまあ達成している」と回答した企業を合わせた割合は、それぞれ以下のとおりである。

- ・使命・目的「地域社会に貢献できる人材の育成」…90%
- ・DP①「基礎的な知識や技術および専門的な知識や技術に加えて、幅広い教養としての知識や技術を、実社会の職業や生活に結び付けて理解することができる。」…85%
- ・DP②「身につけた知識や技術を活用し、立場の違う人ともコミュニケーションを図ることで、複数の人と協力して同じ目標や課題に取り組むことができる。」…79%
- ・DP③「身につけた知識や技術を、実社会の職業や生活と結びつけることで興味や関心を持ち続け、主体的に行動することができる。」…72%

本学の使命・目的の達成状況について9割の企業から高評価をいただいていることから、本学は卒業生を「地域社会に貢献できる人材」として送り出し、使命・目的を達成していると評価できるであろう。

DPについても、全てのDPで7割を超える企業から高評価をいただいております、嬉しい結果であった。DP③の達成状況については、DP①及びDP②に比べると低い数値となっており、ここでも、学生の「主体性・実行力（推進力）」の育成が課題であることが示されていた。

5. 今後の課題

本アンケートにより、本学の使命・目的や DP について、ある程度達成できているという高評価を企業等から得られていることが確認できた。本学の現在の教育課程やキャリア支援教育等の成果としてとらえ、引き続き丁寧な学生指導・支援を続けていくことが求められるだろう。

一方で、本学卒業生が修得している能力・態度と企業等からのニーズの間にギャップがあった「主体性・実行力（推進力）」の育成については、課題があることも確認できた。これについては、文部科学省中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」²でも、「高等教育が目指すべき姿」として、主体性を涵養するため「アクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用」することがあげられており、本学もその充実を図ってきているところである。本学では、2023年度よりITビジネスフィールドを新設することが決定しており、自分に与えられた仕事ができるだけでなく、自ら考えて判断する能力の育成を目指している。本アンケートの結果も併せて、新フィールドを含め

² 中央教育審議会が平成30年11月26日の第119回総会においてとりまとめた。

たカリキュラム全体のさらなる充実や有効化について検証・検討していく必要がある。

今後、継続的に卒業後2年ごとの卒業生アンケート及び進路先アンケートを実施しながら、学生の学びの成果に関する指標等も交えて多角的に検証を続け、適切に教学改革を実行していくことが求められる。

「2022 年度 松本大学松商短期大学部 進路先アンケート（3 年目）調査結果」

2022 年（令和 4 年）12 月 20 日 発行

編集・発行：松本大学松商短期大学部 内部質保証室

*無断転載を禁じます。